

◎平成10年度前期（4月～9月）液体ヘリウム供給予定表について

表記の予定表について下記の2点にわたって改正することを検討中です。

1. オーバーホールの日を週の後半（木・金曜日）に移動することについて

理由—現在、オーバーホールは週の前半（月・火曜日）に設定していますが、この設定だとオーバーホールをする場合、予定期間内に作業が終わらないとすぐ翌日に供給日が迫っているので、作業が大変きつくなります。また、修理後はテスト運転することが望ましいのですが、やはり日数に余裕がないといきなり本運転に入らざるをえないため、不安が残ります。

このようなとき、オーバーホールの日を週の後半（木・金曜日）に設定すれば、万一、この2日間で修理が完了できなくても土曜日を予備日にあてることができるので、安心して作業ができます。

2. 水曜日の供給を止めることについて

これまで毎週水曜日は大型容器（250L以上）に供給する日でしたが、この日の供給を止め、専ら液化するためだけの日とすることにしたいと思います。その理由は下記の通りです。

- ①供給量が非常に多いので慢性的に液体ヘリウムが不足し、ときには翌日の供給に支障をきたすことがあるため、週の真ん中あたりで液体ヘリウムを溜める必要がある。
- ②液体ヘリウム汲上ポンプで供給する場合、容器をある程度まとめたほうが供給効率がよい。
- ③これまでも大型容器を水曜日以外に供給したこともあったが、このために他の小型容器への供給に影響を与えることはなかった。

ただし、オーバーホールのある週は水曜日にも供給します。また、500L用の大型容器はこれまで通り、曜日を指定して供給します。

上記についてご意見がある方は液化室までお知らせ下さい。

なお、この予定表は半年間試行した上で、不都合な点があったときは次の予定表を作成するときに是正したいと考えております。

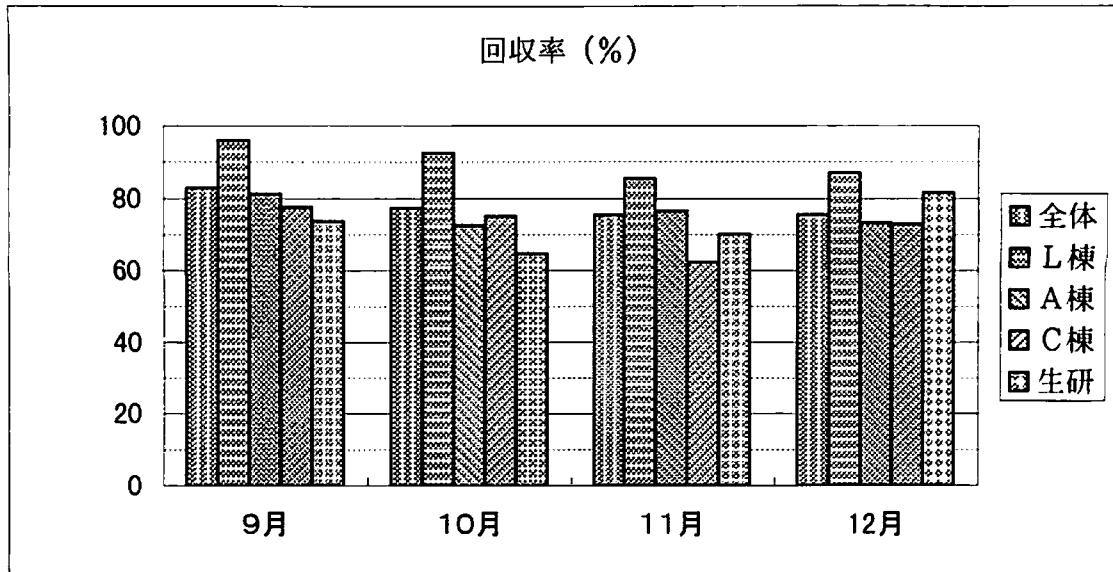
お詫び—新しい供給予定表は1月末に配布する予定でしたが、一週間ほど遅れる見込みです。



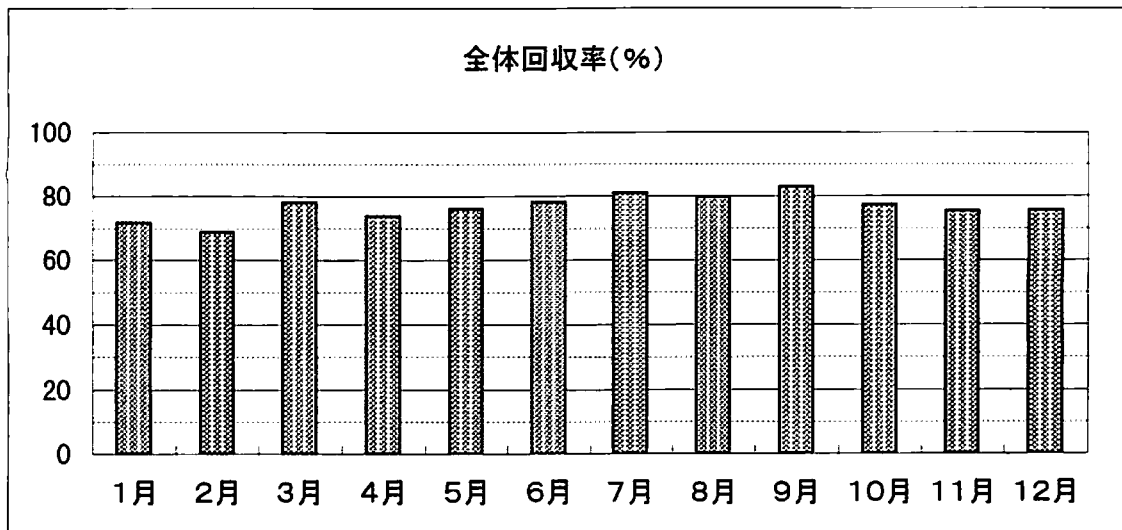
◎ヘリウムガスの棟別回収率（12月分）

（回収量、供給量、在庫量の単位は % に換算）

期間	場所	回収量	供給量	月始在庫	月終在庫	回収率(%)
12月 (12/8~1/9)	全体	11731.3	15828.0	3511.0	3788.0	75.4
	L棟	2814.8	3370.0	641.0	774.0	87.0
	A棟	7226.1	9937.0	2319.0	2385.0	73.2
	C棟	1100.1	1586.0	331.0	405.0	72.8
	生研	760.1	935.0	220.0	224.0	81.6



◎ヘリウムガスの年間回収率（1997年）



昨年1年間の回収率を振り返ると、回収率が80%を超えたのは、わずか2回でした。回収率は顕著にヘリウムの料金にひびき、ひいては研究費を脅かすものと、なりかねません。

また、言うまでもなくヘリウムは貴重な資源なので、その事も念頭において、ヘリウムを使用して下さい。今年も、回収率の向上を目指しがんばりましょう。